

# 製品安全データシート

改訂年月日 2010年12月20日

## 1. 製品名及び会社情報

製品名 **ハイテックフローリングコート**  
会社名 株式会社リンレイ  
住所 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目10番13号  
担当部門 秦野工場 生産技術課  
電話番号 0463-81-5455  
FAX 番号 0463-82-4700  
推奨用途 木床用ワックス

## 2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性 該当しない  
人健康有害性 皮膚腐食性・刺激性 区分3  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2  
環境有害性 データ不足のため分類できない

上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外か分類できない。

GHSのラベル要素

シンボル：  
なし

注意喚起語：  
警告

危険有害性情報：  
軽度な皮膚刺激  
眼刺激

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名／化学名	含有量 wt%	CAS.No.	化審法 No.	安全衛生法 No. 通知対象物	PRTR 法 No. 第1種、第2種
金属架橋型アクリル系樹脂 エマルジョン	20-30	非公開	—	非該当	非該当
アクリル-ウレタン系共重合 樹脂エマルジョン	3-5	非公開	—	非該当	非該当
高融点ワックスエマルジョン	3-5	非公開	—	非該当	非該当
レベリング剤	5-10	非公開	—	非該当	非該当
可塑剤	0.1-1	非公開	—	非該当	非該当
界面活性剤	1-5	非公開	—	非該当	非該当
消泡剤	微量	非公開	—	非該当	非該当

防腐剤	微量	非公開	—	非該当	非該当
水	40-50	7732-18-5	—	非該当	非該当

#### 4. 応急措置

##### 目に入った場合

- ・こすらず直ちに清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外して目を洗浄すること。
- ・医師の診断を受けること。

##### 皮膚に付着した場合

- ・皮膚を清浄な水で速やかに洗浄すること。
- ・外観に変化がみられたり、皮膚刺激がある場合には医師の診断を受けること。

##### 吸入した場合

- ・空気の清浄な場所で安静にすること。
- ・気分が悪い時は医師の診断を受けること。

##### 飲み込んだ場合

- ・速やかに口をすすぎ、安静にして、直ちに医師の診断を受けること。

#### 5. 火災時の措置

##### 消火剤:

小火災: 水、二酸化炭素、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂等  
大火災: 散水、噴霧水、泡消火剤

##### 消化方法:

本製品は引火しない。なお、製品乾燥物に着火した場合には以下の処置をとる。  
・可燃性の物を周囲から取り除く。  
・適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。

##### 消火を行う者の保護:

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:

洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。  
風上に留まる。  
低地から離れる。  
密閉された場所に入る前に換気する。

##### 環境に対する注意事項:

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。  
地域の規則に従う。

##### 回収、中和:

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。  
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。  
大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。

##### 封じ込め及び浄化の方法・機材:

危険でなければ漏れを止める。  
漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。  
蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。

##### 二次災害の防止策:

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

##### 取り扱い

技術的対策:	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
安全な取扱い注意事項:	<p>周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。</p> <p>使用前に取扱説明書入手すること。</p> <p>すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>接触、吸入又は飲み込んではいけない。</p> <p>眼に入れてはいけない。</p> <p>蒸気を吸入しないこと。</p> <p>ミストを吸入しないこと。</p> <p>スプレーを吸入しないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
接触回避:	「10.安定性及び反応性」を参照。
保管	
技術的対策:	<p>保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。</p> <p>保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。</p> <p>保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切な溜めマス設けること。</p> <p>保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。</p>
保管条件:	<p>熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。</p> <p>冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。</p> <p>酸化剤から離して保管する。</p> <p>容器は直射日光や火気を避けること。</p>
混触危険物質:	「10.安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料:	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。

製造業者が指定するその他の防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

### 保護具

目の保護 : ゴーグル等を使用する。

皮膚および身体の保護 : 皮膚を露出しない着衣、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着ける。

呼吸系の保護 : 保護マスク等を着用する。

### 衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	乳白色液体
臭気	弱い特異臭
水への溶解性	分散
沸点	約 100°C
蒸気圧	ほぼ水と同じ
pH	8.4±0.5 (@25°C)
粘度	3.4±1.0 (mPa·s @25°C)
比重	1.02±0.01 (@25°C)

不揮発分	16.6±1.0(wt%)
引火点	なし
発火点	なし
その他	特になし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	一般環境下で安定
危険有害反応の可能性	なし
避けるべき条件	低温(5℃以下)、40℃を超える環境
避けるべき材料	水禁忌物質との混合禁止
危険有害な分解生成物	なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	主成分であるアクリル系樹脂エマルジョンが区分外なので区分外とした。
	経皮	主成分であるアクリル系樹脂エマルジョンが区分外なので区分外とした。
	吸入	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性・刺激性		皮膚刺激性区分2の成分(高融点ワックスエマルジョン)を1%以上10%未満含むので区分3
眼に対する重篤な損傷制・刺激性		高融点ワックスエマルジョンが区分1なので区分2Bとした。
呼吸器感受性		データ不足のため分類できない
皮膚感受性		データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない
発がん性		データ不足のため分類できない
生殖毒性		データ不足のため分類できない
特定標的臓器・単回暴露		データ不足のため分類できない
特定標的臓器・反復暴露		データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性		データ不足のため分類できない

## 12. 環境影響情報

水生環境	
急性有害性	データ不足のため分類できない
慢性有害性	データ不足のため分類できない
その他	一般環境内には廃棄しない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃液等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。</li> <li>・容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。</li> <li>・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および</li> <li>・関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。</li> <li>・地方自治体の規則・基準に従う。</li> </ul>
汚染容器・包装	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。</li> <li>・地方自治体の規則・基準に従う。</li> </ul>

## 14. 輸送上の注意

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。
内陸水路輸送	: 船舶安全法の定めに従う。
海上輸送	: 船舶安全法の定めに従う。

航空輸送 : 航空法の定めに従う。

国際規制

国連分類 : 該当しない

国連番号 : 該当しない

15. 適用法令

消防法	該当しない
PRTR 法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

16. その他の情報

特になし

**(注意) このデータシートは製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。**